



発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

令和4年7月19日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>



「指導者の皆さんへ」
子ども会活動の大切さ

一宮市児童育成連絡協議会

会長 内田 清

令和4年度がスタートしました。これまでの2年余り、コロナ禍で、子ども達が楽しみにしている行事や活動が思うようにできませんでした。その状況は今も変わりありません。むしろ感染力が強まり、子ども達に感染が拡大し心配しています。早くコロナが収束することを願っています。

指導者の皆さん、このような状況の中で子ども会活動の推進役を引き受けていただきありがとうございます。

はじめに子ども会についてです。子ども会活動は70年余りの歴史があります。その中で大切にされてきたことが、「子どものために何か楽しいこと、喜ぶことをしよう」と言う大人達の思いです。そして「子どもにできることは子どもにやらせよう」と言う考え方です。この精



▲ 子ども会指導者研修会

神が脈々と受け継がれ現在に至ります。

また子どもの健全な成長を願う支える関係者によって、「家庭で育て、学校で鍛え、地域で伸ばす」と言う協力体制が築かれてきました。

しかし、コロナ禍により、人と人とのつながりが薄くなり、社会活動も分断され、様々なところでコミュニケーション不足が生じました。

子ども会活動においても同様です。行事の中止等により活動のノウハウが伝わらないなど問題が発生しています。

この状況を解消するためにも、時代の変化に対応した子ども会活動が求められています。

まずは、厳しい感染状況の中で「できる事を見つけ、やれる時にやる」と言う姿勢が大切です。子ども達のニーズをつかんだ行事や、地域社会との繋がりが深まる行事を計画し実践しましょう。

子どもの考えや意見を大切に、できる事は子どもにやらせるようにする。失敗しても温かく見守り支えてあげる。子どもは体験を通して学び育ちます。



▲ 市長さんより子ども会活動にエールを頂きました

やれた。できた。ほめられた。その喜びが次の行動に繋がります。成長します。

本年度は、行事を精選し、指導者の負担軽減を図りながら一歩前に進もう！をかけ声に、これまで「子ども会指導者研修会」「子ども交流会」に取り組みました。

今後も「子どもによる子どものための子ども会」活動をめざし、子ども達にとって「子ども会が楽しい！」と言える子ども会になるよう活動を続けていきたいと思っています。

令和4年度
一宮市子ども会

指導者研修会

西成連区 井端子ども会

指導者 島 淳子

今回、一宮市子ども会指導者研修会に参加させていただきました。

コロナという得体の知れない敵と約2年闘い続け、試行錯誤しながら何とか過ごしてきました。

特に子ども達にとっては、今まで当たり前に出ていた事が、コロナという敵によって全て無くなってしまったという本当に可哀想な時でした。

昨年度の指導者さんの体験談にもありましたが、賛成・反対意見両方あったとしても、主役はやはり子ども達なのだから、安全性を優先に考え、子ども達の笑顔が見られる様に指導者である私たちがサポートしてあげなければならぬのだなと思いました。

指導者は、誰かに認められるという立場ではありません。土日の休みもどちらかが削られてしまい、体力的にもかなり厳しいですが、全ては子ども達の笑顔のため、地域の方々のお力を

お借りし、一年間楽しく活動していきたくと思っています。ありがとうございました。



▲ コロナ禍でも楽しめる遊びを

千秋町連区 勝栗子ども会
指導者 古田 いず美

この度、3年ぶりに開催された、一宮市子ども会指導者研修会に参加させて頂きました。

前年度の指導者お二人の体験発表を聞き、コロナ禍で当たり前のことが、当たり前ではなくなくなってしまった今、何事も中止にすることは簡単だけれども、その中で子ども達が楽しめること、やれることをやっていくことの大切さを教えて頂きました。『全ての選択は変化の始まり』コロナ禍の今だからこそ、とても心に響きました。

体験発表

西成連区 西大海道子ども会

指導者 下道 琴里

ジュニアリーダーによるレクリエーションでは、コロナ禍でも楽しめる遊びや、リズム遊びを教えて頂き、一緒に楽しい時間を過ごさせてもらいました。ぜひ子ども会の活動に取り入れたいと思いました。

指導者としての一年は始まったばかりですが、活動が出来ることに喜びを感じ、協力して下さる方々に感謝することを忘れず、子ども達と共に楽しんでいきたいと思っています。ありがとうございました。

子ども会の指導者というのは、ほとんどボランティアです。誰かに褒められるわけではないですし、どれだけ頑張っても決してお給料は出ません。もう辞めたい...と思う瞬間も、正直あります。いろんな人と衝突する事もありますし、疲れ果てて家事が出来なくなる日もあります。

ですが、それ以上に得るものが私にはありました。子どもたちの笑顔はもろろん、本来なら関わらずに終わるであろう人た



▲ 貴重な経験でした

ちとの交流。一年間無事にやり遂げられたという自信。子ども会で沢山時間を割かれる事に対して理解をし、応援してくれた家族への感謝。

そして、一年間苦楽を共にした仲間。彼女達は「ママ友」や「指導者同士」という垣根を越え「一生モノの友人」となりました。どれもこれも、指導者になつていなかったら得られなかったものです。私にとって本当に濃厚で、とても重要な一年となりました。

面倒な事から逃げ、すぐ諦めてしまう私が前向きに必死に頑張ったこの一年は、私の人生の大きなターニングポイントになりました。指導者はいろんな挑戦をするチャンスだとポジティブに捉え、頑張ってください。

開明連区 小原子ども会

指導者 西山 志保

コロナ禍2年目で迎えた子ども会活動。そんな中でも、子ども達が安全に楽しく活動できる事を優先してきました。色々と



▲ 意見を集約し決断する

制限が多い今、どの様にしたら子ども達が楽しめるかを、役員さんと意見を出し合い、それをまとめる事が指導者としての役目だったように思います。

私の好きなアーティスト、BTSのRMがこう言っています。『すべての選択は、変化の始まりである』と。子ども会活動を進めて行く上で、色々な選択を迫られます。役員さんの意見を集約し、「これでいい」と決断してきました。この選択が正しいかどうか迷う事もありましたが、すべての選択は変化の始まりなのです。時代は流れています。

多忙の中、ボランティア精神を持って協力してくださった役員さん、育成会や地域の皆さん。私は名前こそ指導者ですが、それは皆さんの、子ども達を思う気持ちと積極的な協力があり、務められたのだと、心から感謝しています。今は不安が大きくても、一年後には私のような思いを持たれる方が多くみえる事を願っています。

児童福祉週間事業

宮西連区 北神明3、4仲よし子ども会

六年 森 瑛介

5月7日、ぼくは児童福祉大会に3年ぶりに参加しました。

最初は映画を見るつもりで学校の体育館に行きましたが、映画を見る前に福祉に関係する人の話がありました。その内容は、じゃんけんをしてわざと負けるというのをしたり、わざとあいこにするというものをやったりしました。そのじゃんけんはとても楽しかったです。

その後、映画を見ました。その内容は、ある日お母さんもお父さんも死んでしまい、ひとりぼっちになった主人公のトロン。トロンはお父さんを殺したバルドを倒そうとしました。そのシーンに感動しました。ほんとうはバルドを守るためにお父さんが死んだという、仲間思いのお父さんがスゴいと思いました。



▲ 映画鑑賞

た。ぼくも大人になったらそんなそんざいになってみたいなと思います。

ぼくは児童福祉大会に参加して、じゃんけんをしたり、お話を聞いたり映画を見たりして、とても楽しかったです。

丹陽町連区 九日市場子ども会

六年 大島 啓嗣



▲ マジックを体験

5月8日、児童福祉週間行事で、丹陽西小学校の体育館でマジックショーがありました。まだまだコロナが心配なので、僕は受付の手伝いで、検温や消毒の呼びかけをしました。丹陽町のほかの学校の子どもの人たちが来ていて、少し緊張しました。

マジックショーでは、鳩が出てくるものや、どんどん旗が出てくるものなどがありました。が、特に印象に残っているものは、2つあります。一つ目は、ぬりえの本を使ったマジックです。マジックをしている人が、みんなの服から色をもらって、ぬりえを完成させるというマジックです。自分たちも参加することができたし、みんなでぬりえに向かって色を送ろうと一生懸命になって盛り上がっていたので楽しかったです。二つ目は真ん中がくりぬかれたトランプを折っていくうちに、裏と表が変わっていくものです。子どもたち全員にトランプが配られて、参加することができました。最初は難しかったけれど、出来るようになり、すごくうれしかったです。

コロナで行事ができずにいる中で、ようやくみんなが集まって福祉大会が開催されたことをうれしく思います。

奥町連区 西新町子ども会

五年 岩田 姫華

5月15日、今日は奥小学校で福祉大会『子ども防災訓練』がありました。

コロナの感染対策で人数制限になりましたが、奥町連区の子どもの友達が集まり、一宮消防本部今伊勢・奥消防出張所と一宮市消防団奥分団の皆さんから、土のうづくり・消火器の使い方・担架づくり・防災○×クイズについて分かりやすく、ていねいに説明を受け、私たちは、リーダー会として福祉大会のお手伝いや実際に体験をしました。体験した中で特に楽しかったのが、防災○×クイズでした。

火災・地震・川遊びでの注意や119番通報はどこにつながらるか？など、いろいろな防災の知識を改めて学ぶことができたので、これを覚えて、いざという時に使いたいと思いました。

福祉大会『子ども防災訓練』を通して、楽しみながら防災に関する知識をたくさん学ぶことができてとても良かったです。



▲ 子ども防災訓練

萩原町連区 荒南子ども会

六年 高瀬 一心

5月8日、子どもフェスティバルがありました。

その中で○×クイズがあったので、一、六年生が参加しているから一年生向けになっているのかなと思っていましたが、六年のぼくでもわからない問題が多くあり、むずかしかったと思いました。ジェスチャーリーダーでは、一番うしろの人がお題を引いて、一番前の人につないでいくゲームで、とちゅうでジェスチャーが変わったりして、一番前の人に行った時に、答えが変わっちゃったりして、自分の所は、三問中一問しかあつてなかったけど、楽しめました。そしてしんかんせん体そうでは、くっしんやうでのばしなどをして体そうができました。

ポディーパークッションでは、ふとももと、手、足を使ってリズムを取るゲームで、最初は、練習をして、最後に全員でさんぽにあわせてリズムを取りました。最後にスピードが速くなってむずかしかったけど楽しかったです。

一、六年生までの絆を深められたと思うし、一年生の子も楽しめたと思います。



▲ みんなが楽しめました

KYT講習会

大徳連区

安全担当 山本 知美

一宮市の多くの子ども会から代表者が集まり、KYT講習会が開かれました。KYTとは、

KⅡ危険、YⅡ予知、TⅡトレーニングの意味で、昭和の時代に日本の住友金属が考案、産業界で広まった危険予知訓練なのだそうです。働く人たちの安全を守るために長く使われてきた歴史のある手法を、子ども会活動に生かすのはとても有意義なことだと思います。

子ども会活動を見守る役員は保護者であるケースが多いですが、だからと言って子どもに慣れているとは限りません。子どもは個々に性格や考え方が違い、予想のつかない動作をするものです。それが大きな事故につながることもあります。活動を見守る中で危ない状況を察知する力が必要ですが、予め起こりうる危険を予測する力があれば、安全な環境を事前に用意できます。

いまだコロナ禍ではあります

が、ワクチン接種も進み、徐々に子ども会活動が再開していく空気があるように感じます。今一度KYTを学び、気を引き締めましょう。



▲ 子ども会活動に安全な環境を

開明連区

安全部長 今枝 美晴

4月中旬、KYT講習会に参加しました。KYTとは、危険予知トレーニングの事で、子ども会活動を安全に楽しく行えるよう意識を高める講習会でした。



講習会のお話の中で『子ども会活動の引率時に、子ども達に気を取られてしまい、引率者が地域の方と接触し、怪我をさせてしまった。』という事例を覚えていただきました。私たちは大人は、子ども達に起こる危険を危惧してしまいがちですが、大人もいつ怪我や事故にあうかわかりません。

まだまだ新型コロナウイルスの感染が収まらず、感染対策をしっかりとして実施した上で子ども会活動を進めていくと思います。活動を通して、危険予知の意識を子ども会全体で高めていき、より一層、安全に楽しく活動していきたいと思いました。

これから一年、状況によって心配や不安が出てくると思いますが、そのような中でも、子ども達と一緒に楽しい思い出を一つでも多く作っていきたいと思いました。

市長感謝状10年表彰を受けて

西成連区

会長 古池 恵

このたび、私は、永年在職ということで子ども会表彰を受けました。例えば、十年以上前、自分の子どもが小学生であったころから、子ども会活動に携わっています。ここまで活動できたことは、ご指導いただきました皆さまのおかげでありますことを感謝しております。

子ども会活動において、私が一番印象に残っていることは、ドッチビー大会であります。校下の指導部長であったころ、少しでもチームが強くなれるように工夫して練習に取り組み、大会当日は子どもたちがいきいきと躍動し、大変盛り上がった記憶は今でも鮮明です。

子どもたちが真剣に取り組む姿を見られることは、とてもうれしいことであり、私の原動力であります。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の自粛を余儀なくされる厳しい状況が続きましたが、

今後は創意工夫して、出来ることに焦点をあてることも大切に思います。今後とも皆さまの助力添えをよろしくお願い申し上げます。



市長感謝状10年

西成連区 古池 恵
奥町連区 井藤 紀代美
奥町連区 大橋 祐子



▲ おめでとうございます



編集後記

みなさんからのたくさんの方の原稿をお待ちしています。一年間よろしくお願ひします。

広報委員

河辺 三代・大窪 文子
奥田 純子・赤野 ルミ子
加藤 貴美